

合併後の通学区域、見直すべきでは

津山新星会議 竹内 邦彦



力と心の教育充実に努力していく。津山市のパソコン教育の見直しと情報モラル教育の見解は。

質問 ↓ 今日の情報社会において主体的に行動できる能力と態度を学ぶよう指導し、子供の心を育て、自分や人の命の大切さを指導の基礎としていく。また、学校と家庭において子どもに関しての情報交換を密にする。

質問 ↓ 新生津山市となる前に通学区域の見直しを検討してはどうか。

回答 ↓ 合併後の課題であり、PTAや地域住民の声を聞きながら、少子化や学校建築等を考慮して、通学区域の再編や弾力化を検討していきたい。

来年の国体、民泊受け入れ状況は

清風会 勝山 修



会を立ち上げる。

質問 ↓ 継続すら難しい今の農業をどう立て直すのか。農業振興は、高付加価値の魅力ある農産物を作るとともに所得向上につなげることが必要だがどう考えるか。地産地消、生産者の現金収入を確保し、農業者の生産意欲向上のための直売所の新設はどうなっているのか。

回答 ↓ 規模拡大・担い手の確保が必要。認定農業者への農地集積、経営の組織化、法人化を進める。十七年度建設を目標。運営は公設民営、場所はグリーンヒルズ津山にという意見あり。規模は販売量を見て増設可能な設計。

質問 ↓ 来年の国体で、津山市の民泊の受け入れ状況と受け入れ体制はどうか。
回答 ↓ 連町四支部、三十三町内会で民泊に協力をいただき、年内に民泊協力

再開発問題それぞれの責任論

不羈の会 小栗 興治



再生案を提案すると同時に今期の退職金を街づくり会社の増資に充てることを明言すべきと思う。また、私たち議員や職員の責任の取り方の一つとして、報酬や給料の一部を中央商店街のみに通用する商品券で受け取り、中央市街地活性化応援策とするべきである。

質問 ↓ アルネの第三次再生案の提案に際して、この問題に関わった人達が、それぞれに責任を取らなければ市民の理解は得られない。市長は第三次

合併に伴い、IP電話の導入を

公明党津山市議員 岡安 謙典



質問 ↓ 国や県の支援を得て、施設全体の有効利用や将来展望を図ることこそ市長としての責任と考えている。また、商品券は結構な提案だが、給与は現金で直接に全額支払うという法的原則があり、実現は難しいだろうが全力で検討したい。

一件数は十五年度が前年の三倍近く増え、相談に対応するため、相談員が八月に一人増員される予定。市民相談室は市民の方々が安心して相談する事が出来る環境の確保に努力する。特にプライバシーを守ることが必要な場合は、可能な限り会議室など個室を確保し対応して参りたい。

質問 ↓ 合併に伴う、電話設備ネットワークシステムとは。IP電話の導入を検討してはどうか。

質問 ↓ 消費生活支援センターの現状と相談者への対応は。市民相談室のプライバシー保護の環境整備は。
回答 ↓ 消費生活センター津山支所の相談

回答 ↓ 合併後は市庁舎と支所の電話を情報システム統合によりすべて内線化、IP電話導入は電話使用料の削減に大きな効果があり、研究していく。